

ピンホール・密集してる箇所の処理 施工手順

■ 施工方法

1 ピンホール施工前

補修箇所をセメント用プライマー、又は水を塗布し、リペレジを柔らかく練り上げます。



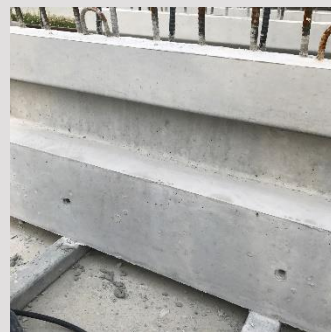
2 補修材充填

リペレジを塗り用金コテで一気に塗り込みます。この際、一度では気泡の奥まで材料が入りにくいので、上下左右とコテで詰め込むように塗りましょう。



3 平坦処理

リペレジが乾ききる前にスクレーパーで余分な材料を削りコンクリート面を露出させます。
*グラインダーを使うときは完全硬化させてから削ります。



4 表面処理

#600ペーパーを使い削り跡等の余分な材料を擦り落とします。



5 完成

周囲と違和感がなくなれば完了です。
*色合わせが必要な時は⑥へ下地の状況によりCリペライニングを塗ります。



6 吹付け処理

周囲の色と合わせたCリペカラーを吹付けていきます。少しずつ乾かしながら吹き重ねていきましょう。



7 模様付け(完成)

必要に応じて模様をつけて完了です。



準備する物

- 練り用金コテ
- 塗り用金コテ
- ボウル
- スクレーパー
- 耐水ペーパー#600
- ワイヤブラシ
- 小バケツ
- 刷毛
- ウエス
- ガストーチ
- ブロワー
- グライNDER
- 平面研磨砥石#36・#80
- 状況により
- ワグナー
- コンプレッサー
- エアホース
- エアガン
- 模様付けパット

準備する材料

- リペレジ
- セメント用プライマー（ロイヤルW21を水で20倍程度に希釈したもの等）
- 水

状況により

- Cリペライニング
- Cリペカラー
- トーンカラー

■ 施工の注意点

- リペレジシリーズはプレミックスタイプの補修材です。水だけで練って下さい。強度を増すために接着剤等を混入した場合、硬化時間・色が設定と異なる場合がありますのでご注意ください。
- 水で練り混ぜた物は残さず全部使用して下さい。**硬化が始まってからの再加水・練り返しはしないで下さい。**クラック・接着不良の原因となります。
- セメント系ですので、風化・吸湿性があります。保存には充分注意しなるべく早めにご使用下さい。（5kg内袋は、保存性を良くするためヒートシールしてあります。さらに、輪ゴムが袋に入っていますので、使い残した物の封にご利用下さい。）
- 補修の際は下地の余分な凹凸は予めハンマー・チス・スクレーパー等で取り除き、掃除をして下さい。離型剤が表面に残っている場合は特に剥がれ易くなります。ブラシ等で補修面を擦り、水湿すると効果的です。
- スクレーパーや金コテで手を切る恐れがありますので扱いにご注意ください。
- Cリペライニング、Cリペカラー等に記載されている**注意書きを必ずお読みください。**
- Cリペカラーに混和液を混入後は、24時間以内に使い切ってください。
- 吹付けする際、付着すると困るような箇所には予め養生してください。万が一付着したら水で濡らしたウエスで拭き取ってください。
- Cリペカラーは使用の際、しっかりと混ぜてご使用ください。混ぜりきっていないとムラができる場合がございます。
- Cリペカラーは**少しずつ薄く吹き重ねるように**吹付けてください。一度に厚く吹きますと水滴が垂れてしまい仕上がりが悪くなってしまいます。『吹付け→乾燥→吹付け→乾燥…』と下地が見えなくなるまで繰り返してください。
- 模様付けは規則的に叩くと違和感がでてしまうので周囲の模様を参考に自然な風合いに一定になるよう軽く叩いてください。